



広島市食検だより

2019年2月 第53号



とんたんとく 豚丹毒ってどんな病気？

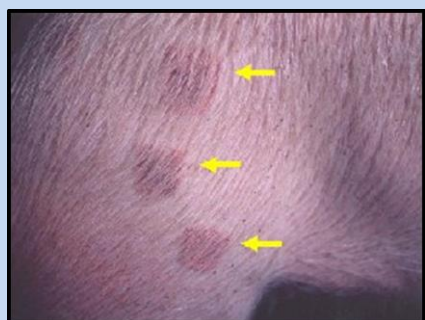
広島市食肉衛生検査所では、毎日たくさんの豚と牛を食用にできるかどうか検査しています。病気の疑いがある場合は、詳しく精密検査を行います。今回は、その中でも**豚丹毒**という病気について紹介します。

① 豚丹毒は、豚丹毒菌によって引き起こされる豚の病気です。

豚丹毒菌は広く世界に分布しており、特に養豚農家にとって重要な病気です。そのため、わが国ではこの病気を**届出伝染病**に指定し、発見した獣医師はすぐに報告をしなければなりません。

② と畜場で主に発見されるのは、**じんましん型**と**関節炎型**があります。

じんましん型



ひし形のポコッとしたふくらみが背中や肩などにできます。

ツルツル ✨

関節炎型

正常なひざの関節



しゅうもうのあるひざの関節



リンパ節が腫れます。

ひざに**関節液**がたまり、**絨毛**と呼ばれる結合組織が増えてきます。

豚丹毒の豚のひざはモジャモジャ

③ 人にも感染する**人獣共通感染症**です。

豚丹毒菌の人での感染を**類丹毒**（るいたんとく）と呼びます。手指の傷口から感染することが多く、皮膚炎、リンパ節炎などを引き起こしますが、人から人へはうつりません。

培養

顕微鏡で観察

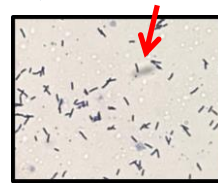
豚丹毒菌



精密検査ではリンパ節や関節液を培養します。



豚丹毒菌が生えると黒色に変化します。



豚丹毒菌が検出されたお肉は処分され、市場には流通しません！！

